



# ゆずりはの森から

第190号  
2019年5月30日発行



NPO法人  
ゆずりは学園

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 社会人

## 体育大会、そして学習スタート



入学式・始業式(4月11日)

4月11日にスタートした今学期。20日には、ゆずりは学園から5分、江比岡野外センターに次々と生徒が集まってきました。10時開会式、NICEの若者たちも9名、もうグラウンドに集合しています。初めての体育大会、委員会対抗のゲーム開始です。ボール渡しゲーム、スプーン作戦、ドリブルゲーム、NICEの若者が先頭に、ボールが初めて会う仲間の手に残っていきます。天気も良く、暑い日差しが降り注ぎます。三河湾の見える広いグラウンド、子ども達の歓声が響きます。体育館の中では、次のスポーツ、卓球とバスケの試合会場作りが進められています。この準備もN



体育大会(4月20日)

## ゲーム障害がWHO(世界保健機関)の疾患分類に!!



「この辺でやめておこう」のプレーキが、もうかけられない子どもが増えていきます。食事も睡眠などの日常行動よりもゲームを優先し、生活が破たんし、家族関係も悪化していきます。「昼夜が逆転し、朝4時ごろ寝てしまうため、学校の始まる時間には、起きられない」といった報告が入ります。

「好きでゲームをしているのではない。他にすることがないから、ゲームをしているんだけど、だんだんやめられなくなってきた」と言います。学習は面白くない、ゲームは面白い。

スマホの普及に伴い、また不登校で家にいても遊べるゲームは、今は疾患分類に入るようになってしまいました。すぐキレたり、家族に暴力を振ったりする子どもも多くなりました。子ども達をこのゲーム障害に陥らせない対策も急務です。

## 集中スクーリング

古典B(5月9日)

今月のSHOT



## カヤック体験・海岸清掃・ブーメランを防ぐために

雲が空を覆い、時々雨も降り、それでも開会式には太陽がのぞくそんな天気でしたが、今年はカヤックも海岸清掃もできました。



カヤック体験学習(5月18日)

15名。パドルの練習をして、前に進む、右に進む、後ろに進む、そして出発。波はありますが、安全に注意して学習体験開始。海の中で自分の手を動かすことしかカヤックを動かせません。ゲームの好きな現代の高校生も、舵取りには最初は大変そうでしたが、みんなどんどんうまくなって、陸地の方に戻ってきます。「海の中では、他人を頼ることはできません。自分一人で生きていく体験学習です」このカヤックはいつも、そんな気持ちでいます。

ブーメランを止めるためにと海岸清掃の説明をしました。マリアナ海峡の一万メートルよりさらに深くの海底で、色鮮やかな微細のマイクロプラスチックの有害物質が見つかったとのニュース。人間が捨てたプラスチックが海を漂い、小さくなって、魚がそれを餌と間違え食べてしまい、それを人間が食べ、発がん物質のマイクロ



海岸清掃(5月18日)



プラスチックは、人間を癒へと導いていく、ブーメランです。生徒たちの感想にも、多くの「ブーメラン」が書かれていました。「ゴミの袋は174袋。ゆずりは学園の前の三河湾だけで、今日の一日のゴミの量は、マリアナ海峡のニュースも含め、「エントレス」と手伝ってくれた保護者の方の言葉です。

## 募集 会員希望者

- 賛助会員 / 年会費 2,000円
- 正会員 / 年会費 5,000円
- 寄付 / 自由



三菱東京UFJ銀行(普) 田原支店  
 座名義 / ゆずりは学園 理事 杏名智彦  
 座番号 / 3627714

座名義 / 特定非営利活動法人 ゆずりは学園  
 座番号 / 00870-6-136039

お便りを郵送します。お名前・ご住所をご連絡ください。

発達障害親の会 **ゆず茶** (202回)  
 ○日時 / 7月12日(金) PM1:30~3:00  
 ○場所 / ゆずりは学園  
 (奇数月第2金曜日 9/13・11/8・1/10・3/13)  
 発達障害対応マニュアル本「異空間のドアを開けて」1,500円(販売中)

お問の中心、連絡先  
**ゆずりは学園事務局**  
 〒441-3421 田原市田原町池の原15-3  
 TEL: 0531(22)3515 FAX: 0531(22)7761  
 e-mail: kutsuna\_ike@yahoo.co.jp  
 http://www.yuzuriha-gakuen.com/  
 http://ameblo.jp/yuzurihaschool/  
 http://ameblo.jp/kutsuna-diary/